

しろくま通信



前々回より「お盆」について書いています。

京都では、8月の13日から始まり16日の五山の送り火に終る盂蘭盆（うらぼん）には、各家に於て先祖の霊を祀る報恩供養（ほうおんくよう）が行われますが、その前の8月7日から10日までの4日間に精霊（御魂 みたま）を迎えるために六道珍皇寺に参詣する風習があります。これを「六道まいり」あるいは「お精霊（しょうらい）さん迎え」とも言い、お盆に冥府から帰ってくる精霊たちは、必ずここを通るものと信じられた事に由来しています。



六道まいりで迎え鐘を叩いたり、地獄絵図を見たりできるといった、他のお寺では体験できないことでもあります。あの世の体験に、ぜひ一度行ってみてはいかがでしょうか♪

「五山の送り火」は京都を囲む5つの山にそれぞれ「大文字」「左大文字」「船形」「鳥居形」「妙法」の形に火をともしすというものです。五つの山に5種類の送り火を焚くところから「五山の送り火」と呼ばれるようになりました。



前回のしろくま通信はホームページで観覧できます

<http://babayakkyoku.com/>

ホームページは「しろくま薬局」ですぐに検索！！

